

株式会社ニレコ(6863) 2020年3月期第2四半期 決算説明資料

2019年11月15日

本資料における業績予想及び将来の予測等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績は様々な要因によりこれらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おきください。

業績推移



実績及び計画

19/3期上期	20/3期上期	20/3期計画
受注高 5,048百万円 (18/3期上期比+24%)	受注高 3,647百万円 (19/3期上期比▲28%)	受注高 8,800百万円 (前期比▲6%)
売上高 3,975百万円 (18/3期上期比+12%)	売上高 4,121百万円 (19/3期上期比+4%)	売上高 9,000百万円 (前期比+7%)
営業利益 386百万円 (18/3期上期比+88%)	営業利益 486百万円 (19/3期上期比+26%)	営業利益 950百万円 (前期比+6%)

重点テーマ

- ◆ 市場の拡大
- ◆ 技術の進化
- ◆ 株主還元

いかなる環境下においても成長できる体制の実現

事業基盤の拡大強化

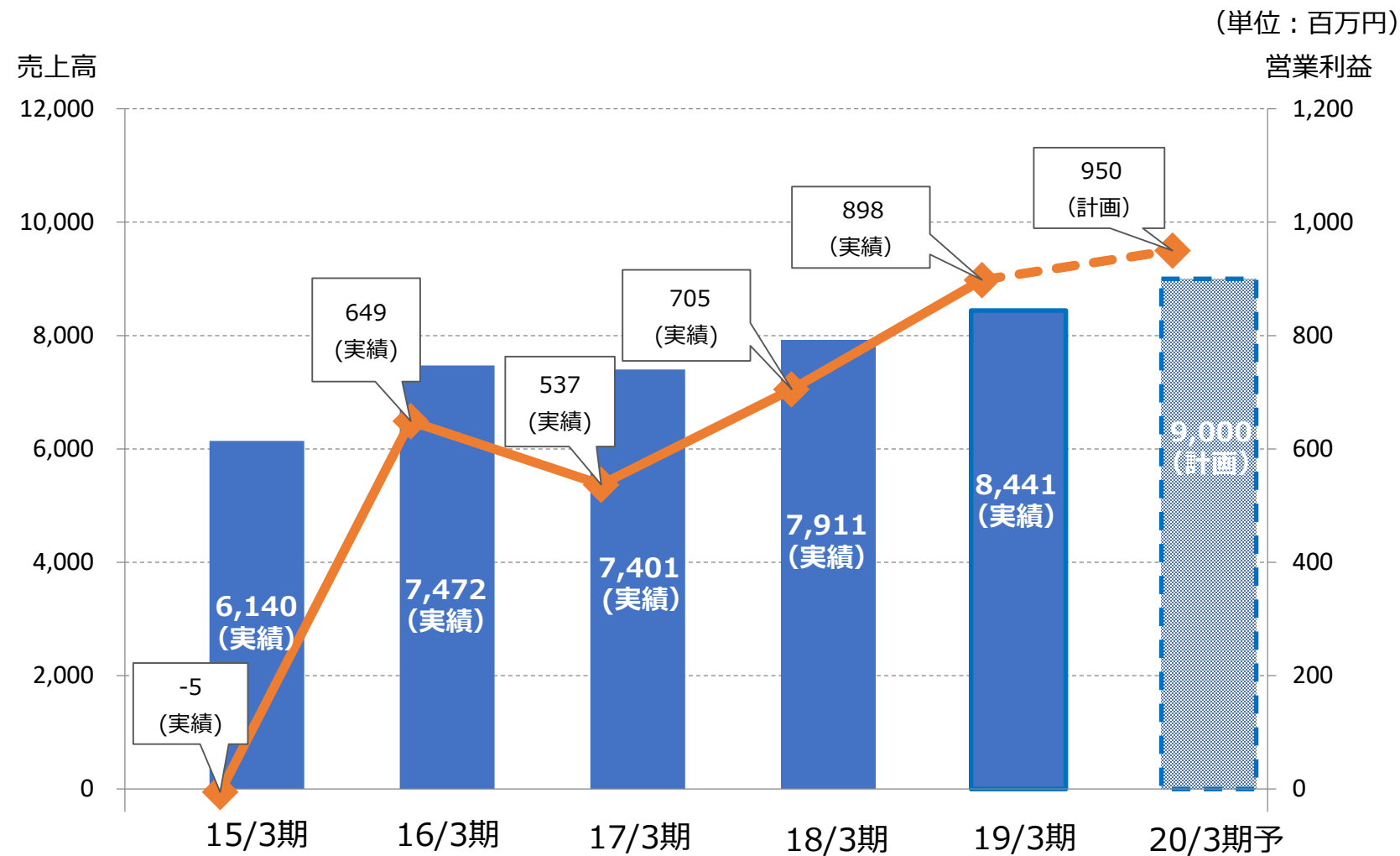
競争優位性の向上

20/3期の取組み進捗状況

- 海外子会社の拡充・体制整備
- 高機能フィルム向け検査機事業の拡大
- 光学部品事業の開拓

安定配当の維持を基本に配当性向35%を目標

業績推移



棒グラフ：売上高 折れ線グラフ：営業利益

1. 上期実績
2. 今期計画
3. 持続的成長に向けて

1. 上期実績 (2019/4 – 2019/9)

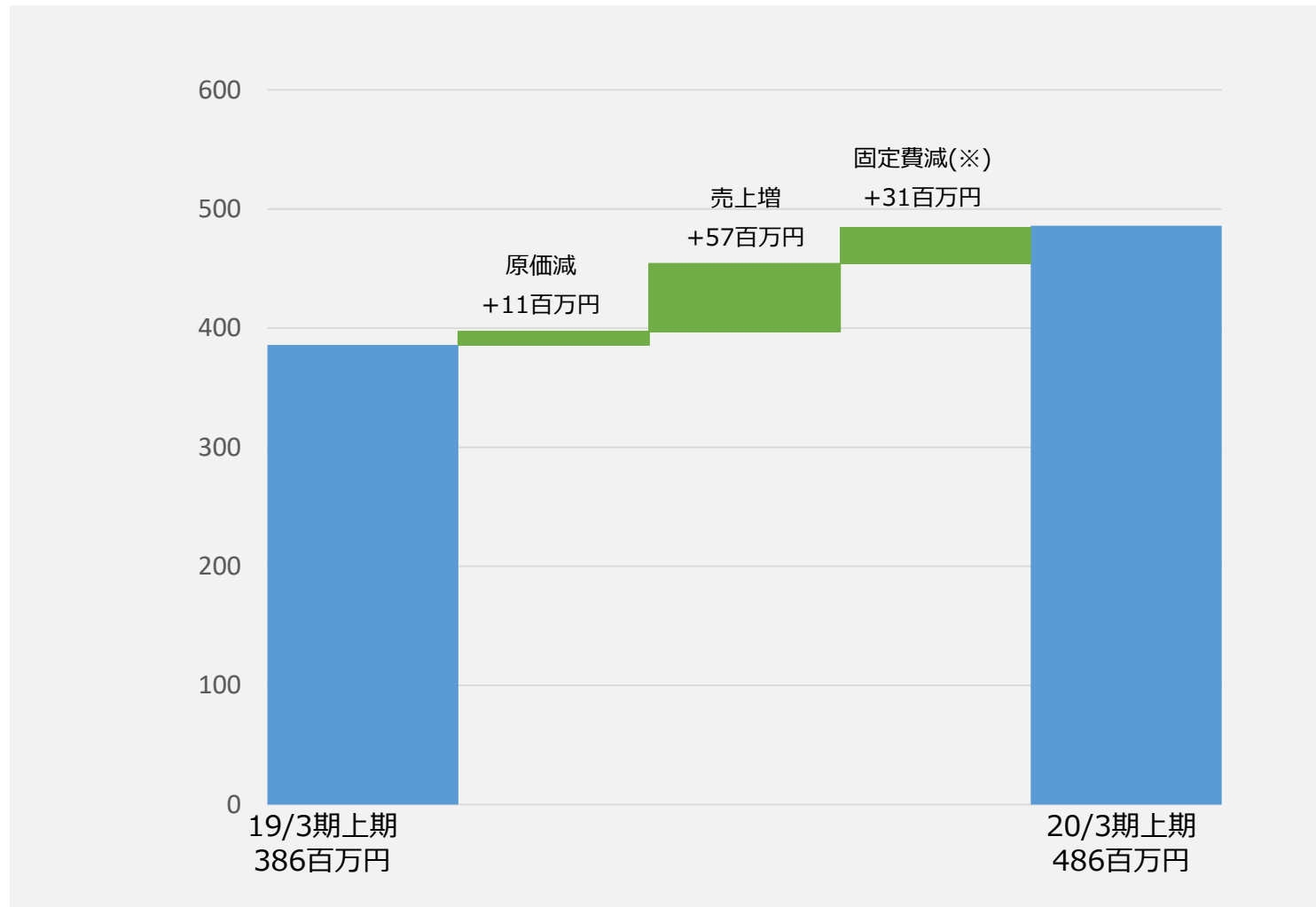
連結実績

- 売上高・利益ともに前期比増、利益はほぼ計画どおり

(単位：百万円)

	19/3期	20/3期		増減率	
	上期実績	上期計画	上期実績	前期比	計画比
受注高	5,048	4,500	3,647	▲28%	▲19%
売上高	3,975	4,400	4,121	+4%	▲6%
営業利益	386	450	486	+26%	+8%
営業利益率	9.7%	10.2%	11.8%	-	-
経常利益	423	500	506	+20%	+1%
経常利益率	10.7%	11.4%	12.3%	-	-
親会社株主に帰属する当期純利益	244	350	311	+27%	▲11%
当期純利益率	6.1%	8.0%	7.5%	-	-
1株当たり当期純利益(円)	32.93	47.21	42.51	+29%	▲10%
受注残高	4,014	3,924	3,350	▲17%	▲15%

営業利益増減要因（前期比）



※固定費 = 販売費及び一般管理費

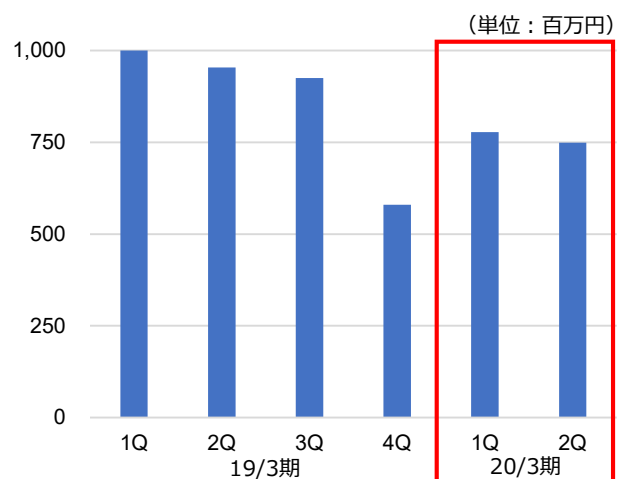
プロセス事業

➤ 前期比で売上高、利益が上回るも受注高は減少

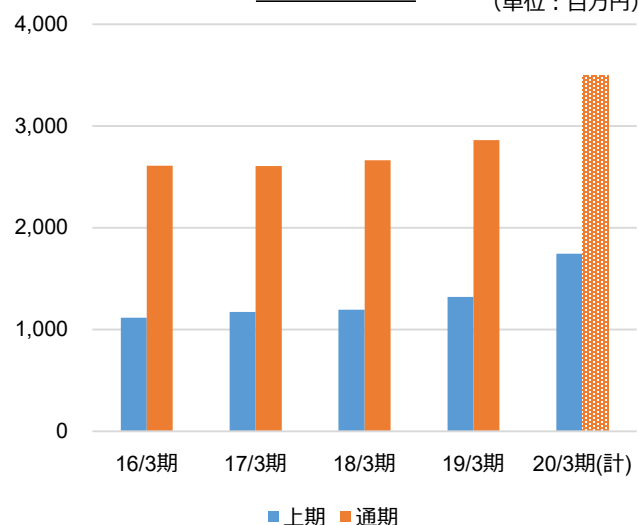
(単位：百万円)

	19/3期	20/3期		計画	
	上期実績	上期実績	前期比	通期計画	上期進捗率
受注高	2,031	1,527	▲25%	3,350	46%
売上高	1,320	1,745	+32%	3,500	50%
セグメント利益	334	436	+30%	800	55%
セグメント利益率	25.3%	25.0%	-	22.9%	-

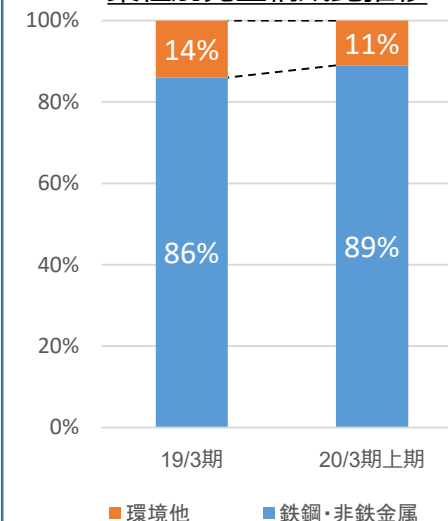
受注高推移



売上高推移



業種別売上構成比推移



ウェブ事業

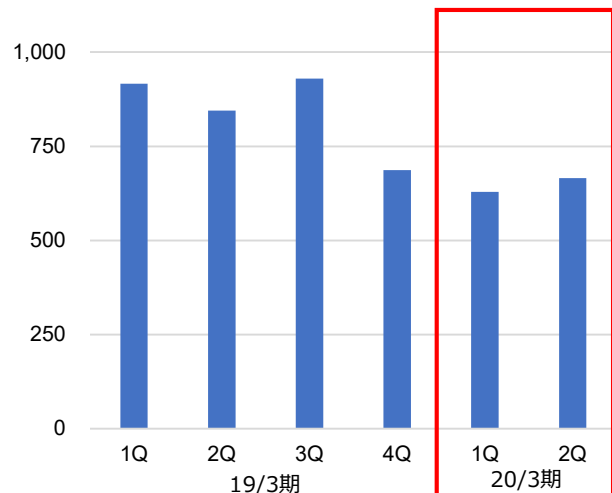
- 受注高、売上高、利益ともに前期比下回る
- 位置制御装置が海外向けで低調推移

(単位：百万円)

	19/3期	20/3期		計画	
	上期実績	上期実績	前期比	通期計画	上期進捗率
受注高	1,761	1,294	▲27%	2,950	44%
売上高	1,721	1,484	▲14%	3,000	49%
セグメント利益	428	296	▲31%	550	54%
セグメント利益率	24.9%	20.0%	-	18.3%	-

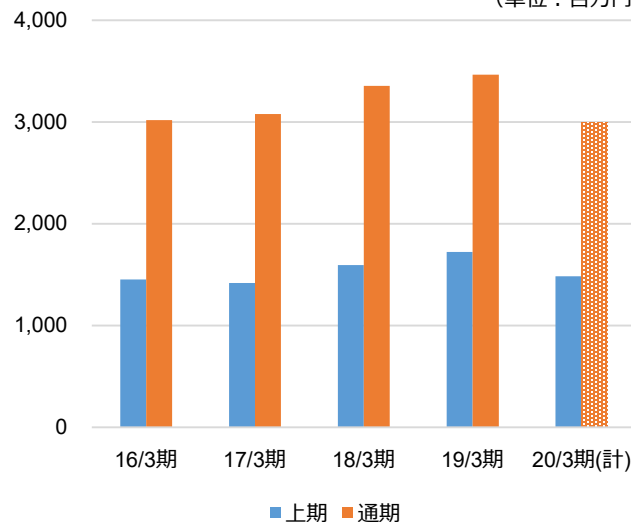
受注高推移

(単位：百万円)

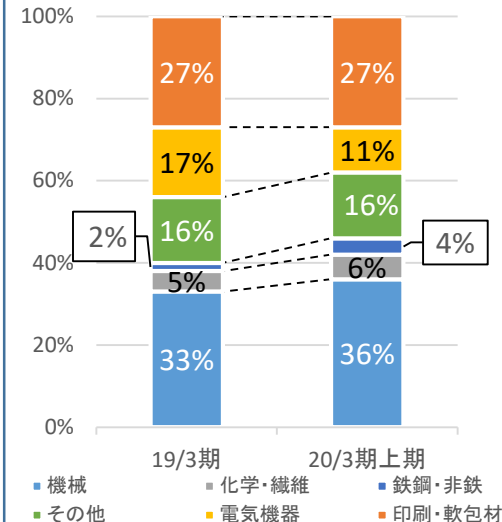


売上高推移

(単位：百万円)



業種別売上構成比推移



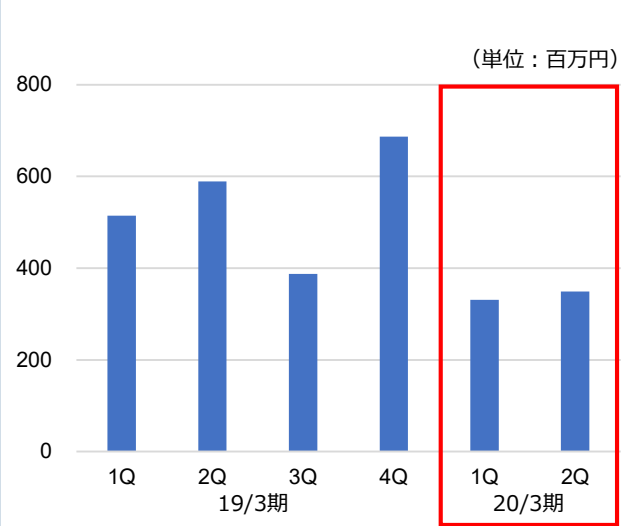
検査機事業

- 無地検査装置が売上高で前期比を上回る
- 選果装置は更新需要一巡し受注高・売上高ともに低調

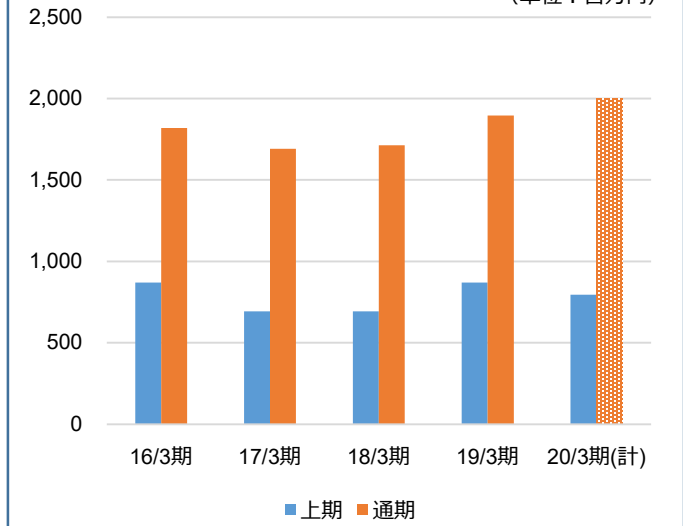
(単位：百万円)

	19/3期	20/3期		計画	
	上期実績	上期実績	前期比	通期計画	上期進捗率
受注高	1,103	679	▲38%	2,000	34%
売上高	871	796	▲9%	2,000	40%
セグメント利益	-5	-28	-	150	-
セグメント利益率	-	-	-	7.5%	-

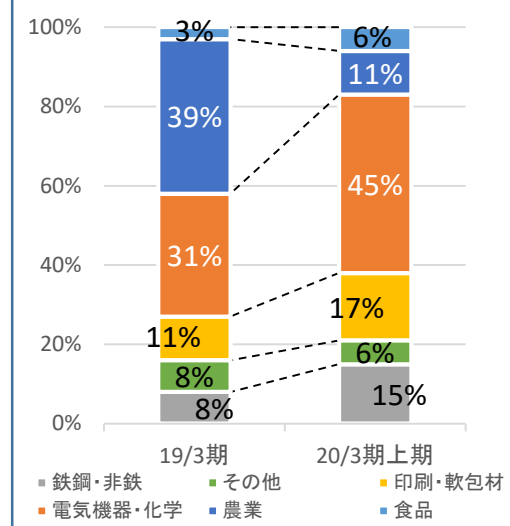
受注高推移



売上高推移



業種別売上構成比推移



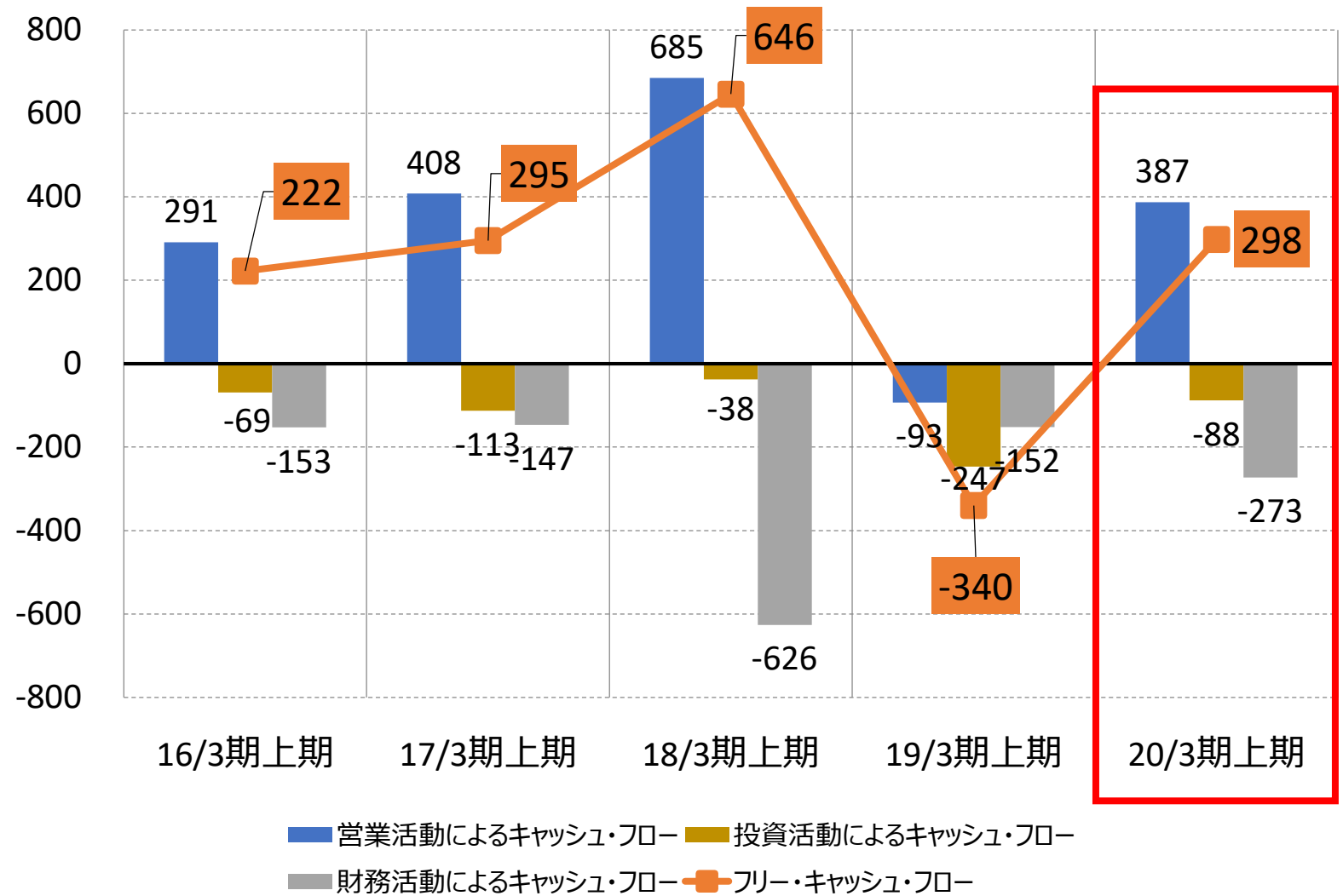
貸借対照表

(単位：百万円)

	19/3期		20/3期上期		前期末比
	金額	構成比	金額	構成比	増減額
現金・預金	4,990	35.6%	4,970	35.5%	▲ 19
売上債権	3,280	23.4%	3,195	22.8%	▲ 85
棚卸資産	1,896	13.5%	2,013	14.4%	+ 117
その他流動資産	338	2.4%	309	2.2%	▲ 29
流動資産	10,506	75.0%	10,489	74.9%	▲ 16
有形固定資産	1,919	13.7%	1,885	13.5%	▲ 34
無形固定資産	133	1.0%	182	1.3%	+ 49
投資その他資産	1,454	10.4%	1,441	10.3%	▲ 12
固定資産	3,506	25.0%	3,509	25.1%	+ 2
資産合計	14,012	100.0%	13,999	100.0%	▲ 13
買入債務	392	2.8%	378	2.7%	▲ 14
その他流動負債	1,068	7.6%	940	6.7%	▲ 127
流動負債	1,460	10.4%	1,318	9.4%	▲ 142
固定負債	61	0.4%	55	0.4%	▲ 5
負債合計	1,521	10.9%	1,374	9.8%	▲ 147
純資産合計	12,490	89.1%	12,624	90.2%	+ 134
負債・純資産合計	14,012	100.0%	13,999	100.0%	▲ 13

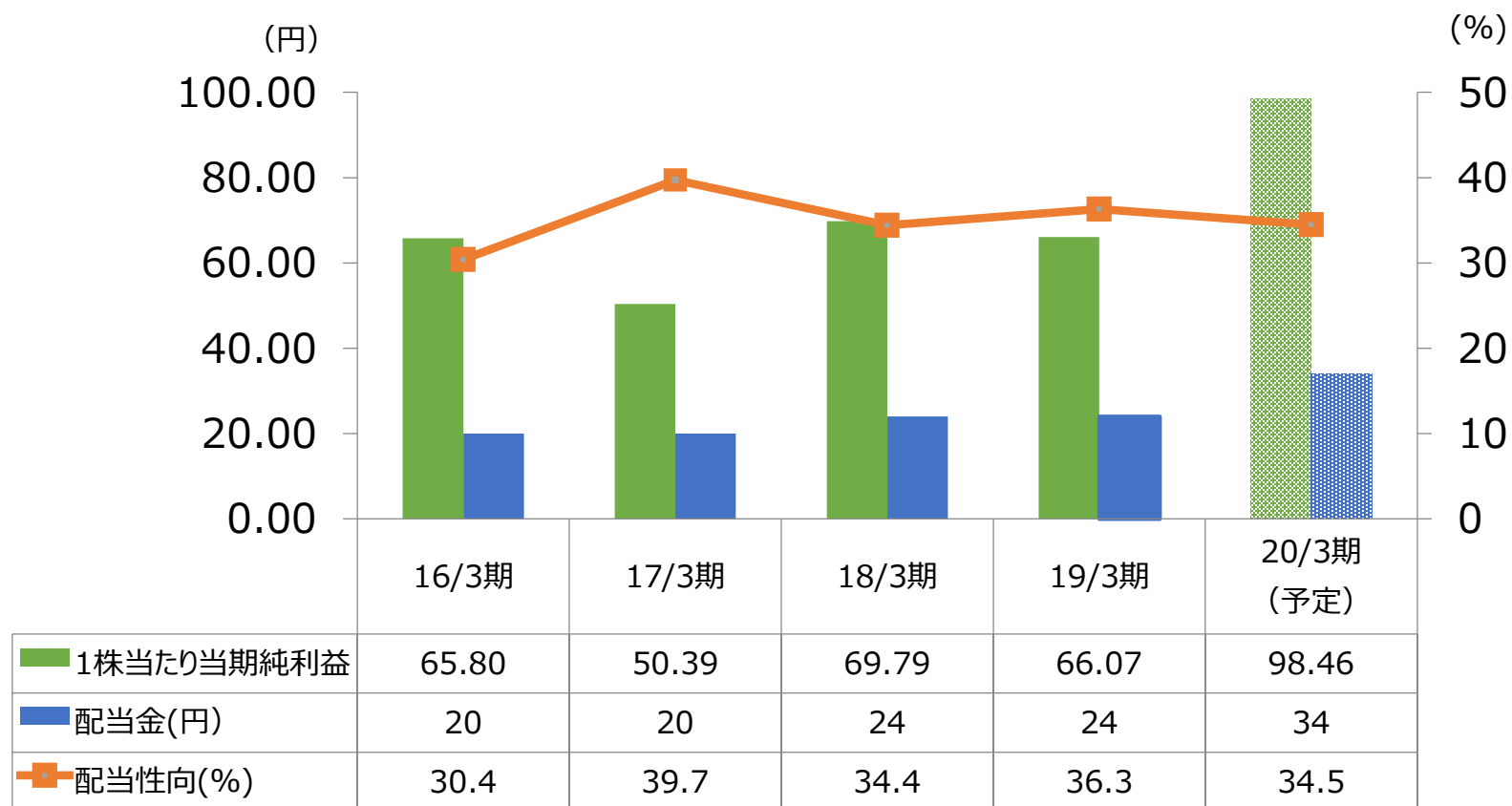
キャッシュ・フローの状況

(単位：百万円)



株主還元について

〈基本方針〉 安定配当の維持を基本に連結配当性向目標35%



上記方針のもと、中間配当金は1株当たり14円と前中間配当金比で4円増配
通期では34円と前期比で10円増配の予定

2. 今期計画 (2019/4 – 2020/3)

今期計画

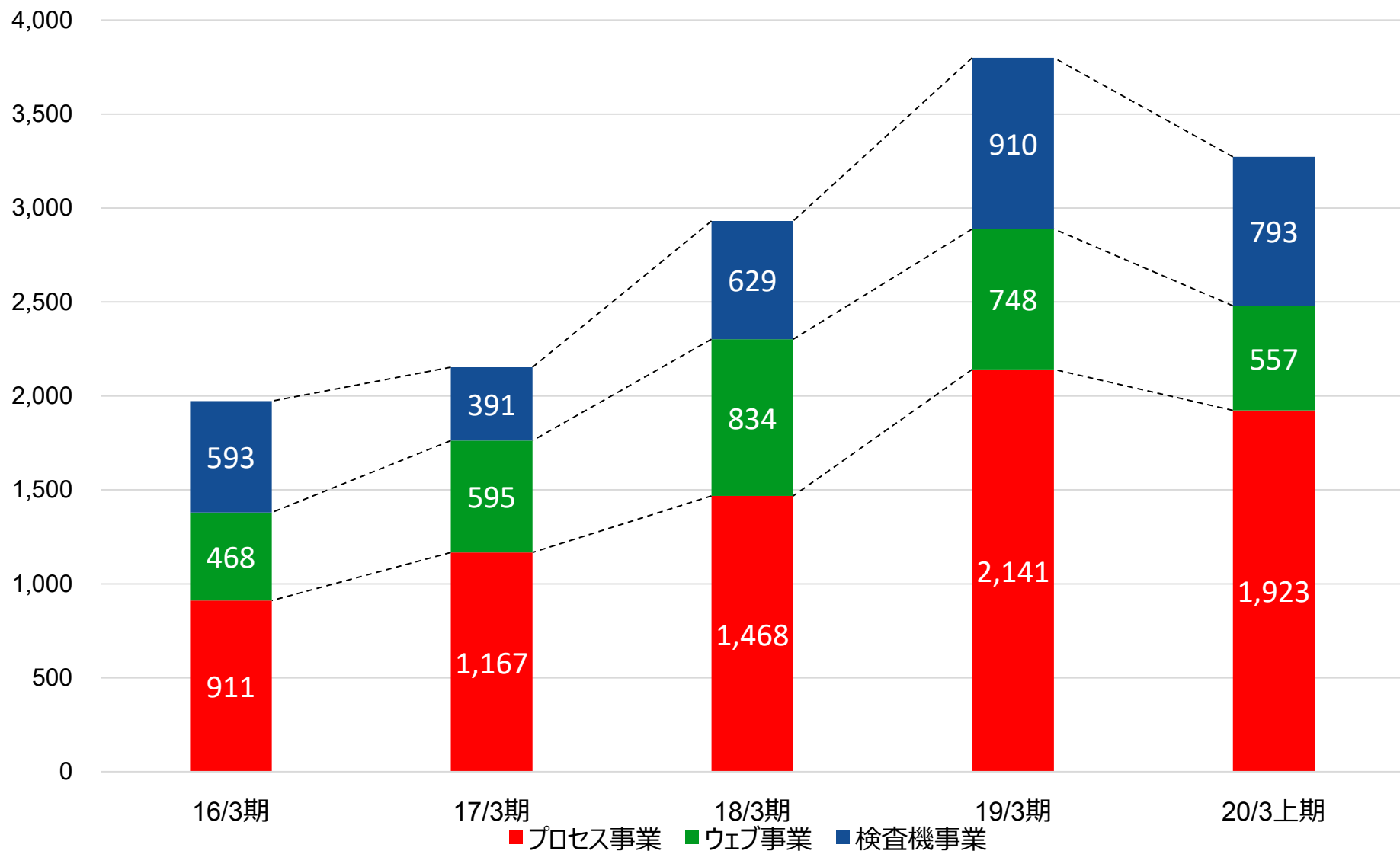
➤ 売上高、利益ともに期初計画を据え置き。経常利益率11%台を目指す

(単位：百万円)

	19/3期 実績	20/3期 計画	増減率 実績比
受注高	9,325	8,800	▲6%
売上高	8,441	9,000	+7%
営業利益	898	950	+6%
営業利益率(%)	10.6%	10.6%	—
経常利益	1,011	1050	+4%
経常利益率(%)	12.0%	11.7%	—
親会社株主に帰属する当期純利益	489	730	+49%
当期純利益率(%)	5.8%	8.1%	—
1株当たり当期純利益(円)	66.07	98.46	+49%
受注残高	3,824	3,624	▲5%

受注残高状況推移

(単位：百万円)



対象市場の状況と施策：プロセス事業

国内鉄鋼市場

- 引き続き競争力強化のための設備投資に注力



- 品質、生産性向上に資する製品の販売に注力
- 新規開拓を目指す計測システムの受注拡大

海外鉄鋼市場

- 先行きに不透明感はあるものの、中国、北米、韓国では老朽設備の更新需要継続

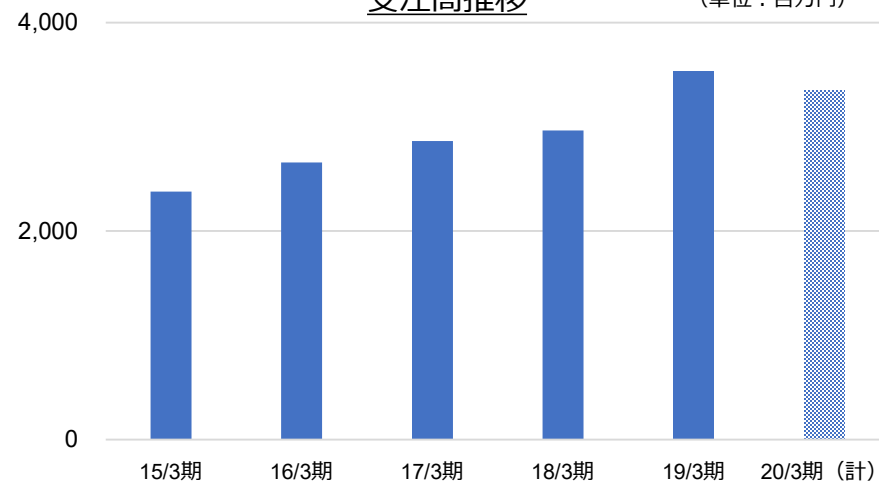


- 海外子会社、現地代理店を活用し中国、北米、韓国を中心にシェア拡大に注力
- 海外向け製品開発に注力

	19/3期 実績	20/3期 計画
受注高	3,535	3,350
売上高	2,862	3,500
セグメント利益	671	800
セグメント利益率	23.5%	22.9%

受注高推移

(単位：百万円)



対象市場の状況と施策：ウェブ事業

国内市場

- 海外需要の影響を受けつつも高機能フィルム向けを中心に底堅い設備投資



- 機械メーカーへの対応スピードアップのために設計・生産体制を構築

海外市場

- 中国・韓国・台湾の二次電池、電子部品向け需要が沈静化

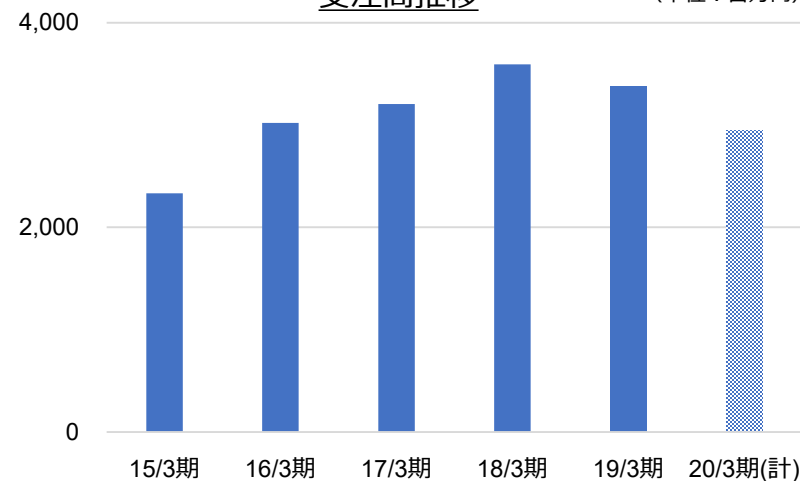


- 台湾、中国子会社及び韓国代理店を中心に東南アジアへの販売ネットワーク強化

	19/3期 実績	20/3期 計画
受注高	3,376	2,950
売上高	3,463	3,000
セグメント利益	842	550
セグメント利益率	24.3%	18.3%

受注高推移

(単位：百万円)



対象市場の状況と施策：検査機事業

高機能フィルム市場

- 二次電池、電子部品向け堅調な設備投資
- ニーズの多様化



- 無地検査装置の更なる市場拡大
- 次世代検査装置を今期中に市場投入

食品市場

- 個食化、食の安全意識の高まりにより新たな加工食品検査ニーズが増加

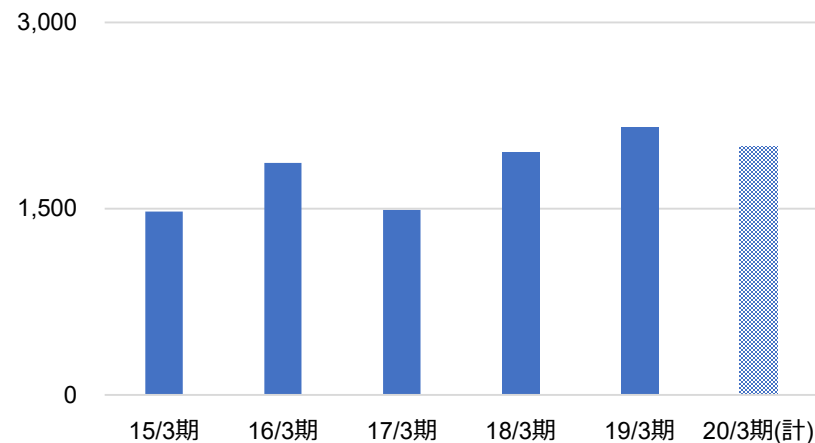


- 新たな加工食品検査ニーズへの対応強化
- 選果装置の海外市場開拓に向けたマーケティング

	19/3期 実績	20/3期 計画
受注高	2,177	2,000
売上高	1,896	2,000
セグメント利益	72	150
セグメント利益率	3.8%	7.5%

受注高推移

(単位：百万円)

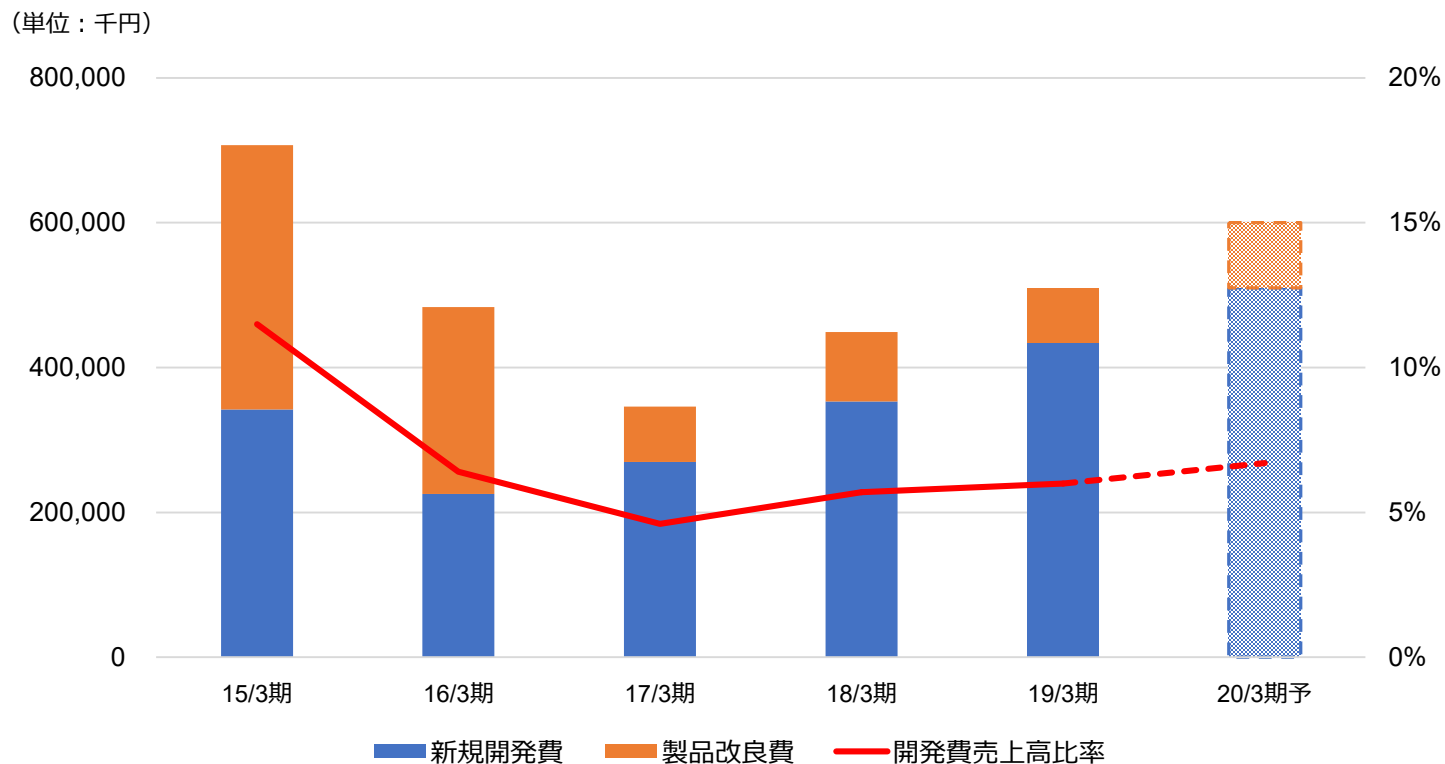


R&D

➤ 新たな収益源の創出に向けて新規開発案件への取組み強化継続

主な開発テーマ

- 次世代検査機の開発
- レーザー技術による製品開発
- 磁界、マイクロ波技術による製品開発



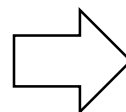
3. 持続的成長に向けて

持続的成長に向けた重点テーマ

いかなる環境下においても成長できる体制の実現

市場の拡大

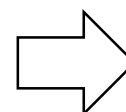
- 海外展開の推進強化
- 検査機事業の強化
- 新製品開発による新事業分野の開拓



事業基盤の拡大強化

技術の進化

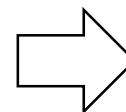
- 磁界、マイクロ波技術による製品開発
- 光学技術による製品開発
- 画像解析技術の高機能化による製品展開



競争優位性の向上

経営体質の強化

- 積極的な成長投資による不足リソースの補完
- グループ連携強化によるシナジー最大化
- 競争力強化のための人的投資、並びにインフラ投資



経営基盤の強化

新子会社紹介～Nireco International GmbH

狙い：現地メーカーとのパートナーシップ構築、技術力の向上、グローバルでの事業規模拡大
海外市場に対応した製品開発

- 所在地：ドイツ エッセン市
- 事業内容：プロセス事業における制御・計測装置の開発、製造、販売、保守サービス
- 従業員数：5名（2019年9月末現在）



新子会社紹介～株式会社光学技研

狙い：光学技研独自の事業の成長、ニレコグループの技術力・製品力強化および
新規事業展開



- 所在地：神奈川県 厚木市
- 事業内容：光学製品の開発、製造並びに販売、光学結晶及びガラス部品の試作加工
- 主要製品

波長板・位相子



偏光子



非線形光学結晶



アイソレーター



參考資料

会社概要

会社名	株式会社ニレコ
代表取締役社長	久保田 寿治
本社所在地	東京都八王子市石川町2951-4
設立	1950（昭和25）年11月
上場市場	東京証券取引所JASDAQ（スタンダード）
資本金	3,072百万円*
連結従業員数	355名*
連結売上高	8,441百万円*

* 2019年3月期連結ベース

沿革

- 1950年 : 東京都中央区に日本レギュレーター株式会社を設立
- 1979年 : 東京都八王子市に本店を移転
- 1984年 : 商号を「株式会社ニレコ」に変更
- 1989年 : 日本証券業協会に株式を店頭公開
- 1990年 : ミスミ電子株式会社（現ミヨタ精密株式会社）を子会社化
- 1998年 : 仁力克股份有限公司を子会社化（台湾）
- 2003年 : 尼利可自動制御機器（上海）有限公司を設立（中国）
- 2004年 : JASDAQ証券取引所（現東京証券取引所JASDAQ（スタンダード））に上場
- 2014年 : Nireco Process Korea Co., Ltd.を設立（韓国）
- 2017年 : 株式会社メガオプトを子会社化
- 2018年 : Nireco Process Korea Co., Ltd.が土地・建物取得し生産体制整備
- 2019年 : Nireco International GmbHを設立（ドイツ）
 - 株式会社メガオプトを吸収合併
 - 株式会社光学技研を子会社化

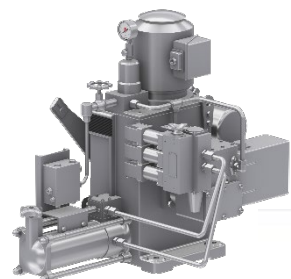
経営理念

「技術と信頼」

われわれは、制御、計測、検査技術を活かした製品ときめ細かいサービスの提供により、お客様から厚い信頼を獲得し、良きパートナーとして共に成長します。ひいてはパートナーシップにより生み出された価値が広く社会において喜びと感動をもたらす経営を目指します。

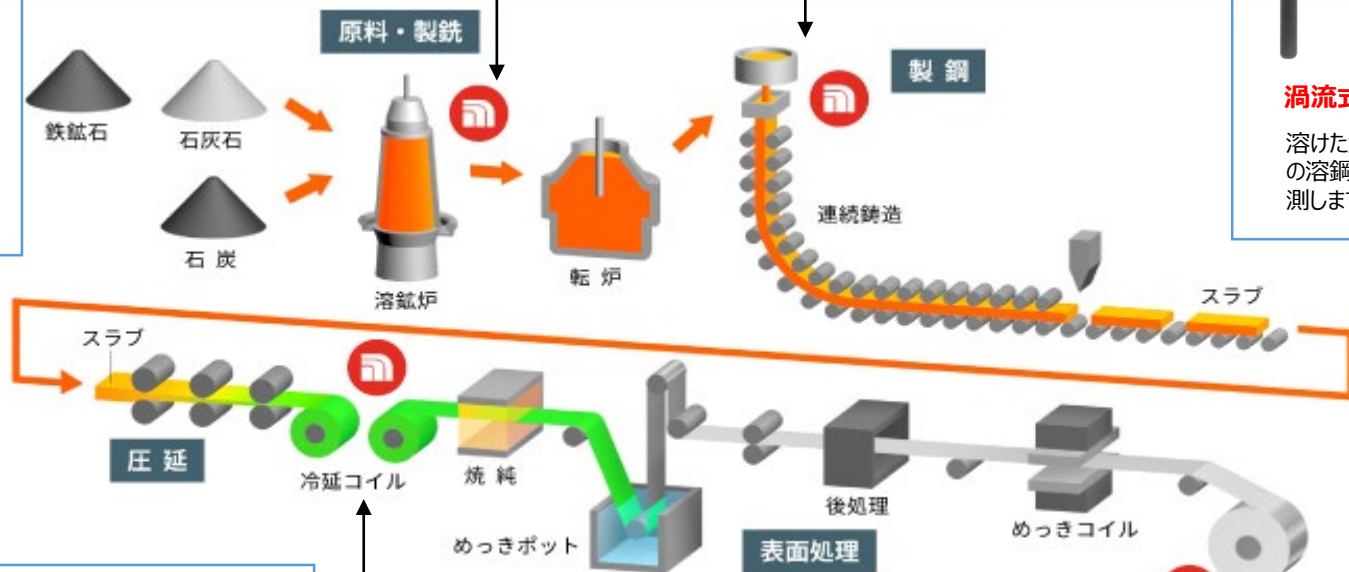
プロセス事業

鉄鋼をはじめ、金属、ガス、化学工業などあらゆる工業における自動制御装置を扱う事業です。



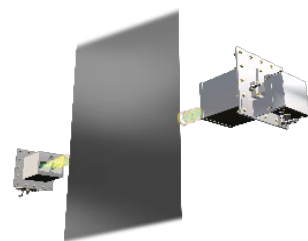
プロセス制御装置

溶鉱炉内の圧力、流量、温度などの制御を行っています。



渦流式溶鋼レベル計

溶けた鋼を型に流し込む際の溶鋼の表面の位置を計測します。



耳端位置制御装置

製造ラインを流れるスラブ（鋼材）の蛇行制御を行っています。

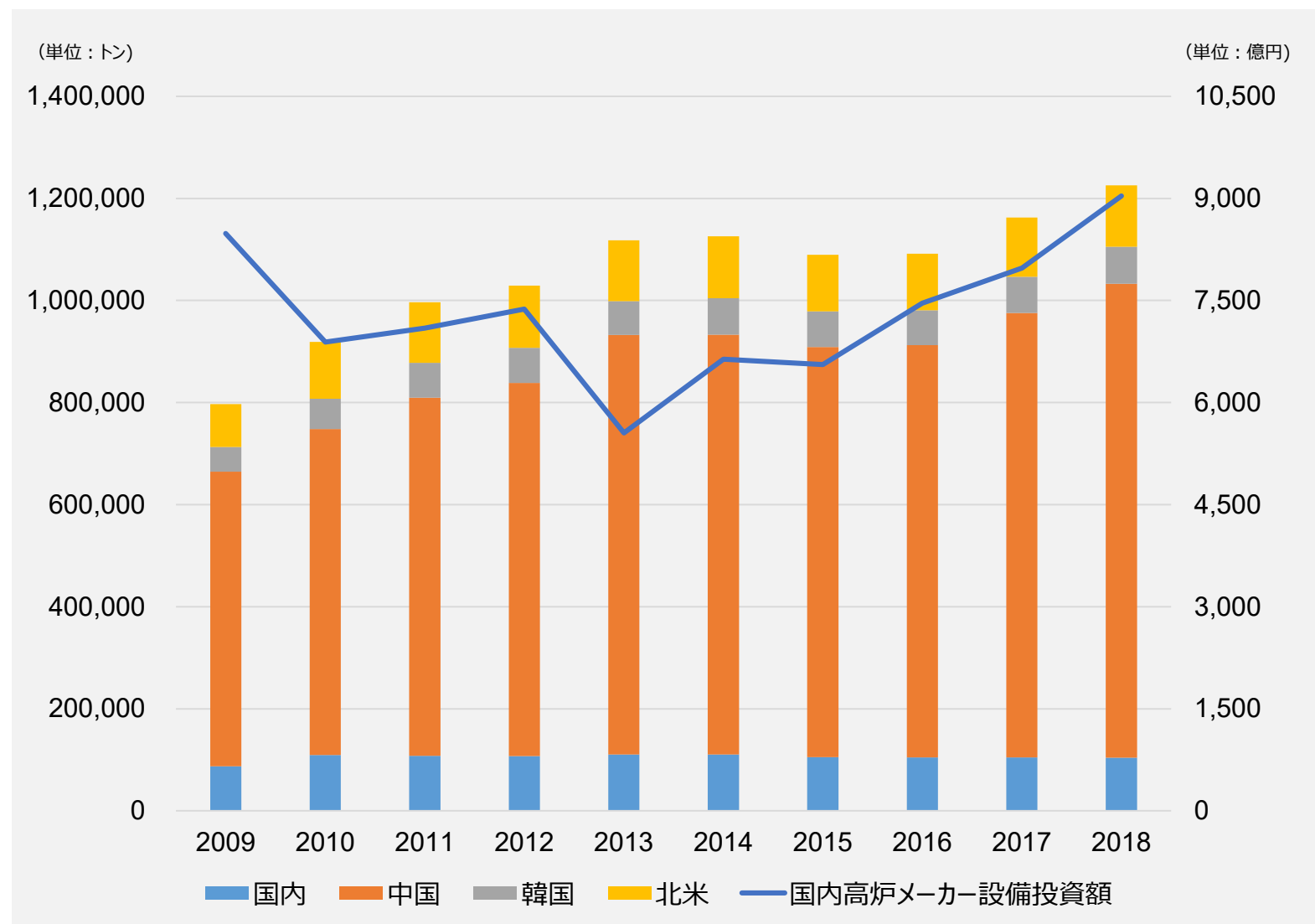


自動識別印字装置

できあがった金属素材に様々な情報を印字しています。

プロセス事業

地域別粗鋼生産量及び国内高炉大手設備投資額の推移



[出展：日本鉄鋼連盟]

ウェブ事業

主に紙・フィルム・箔など薄いシート状素材（=ウェブ）の位置制御装置などを扱う事業です。



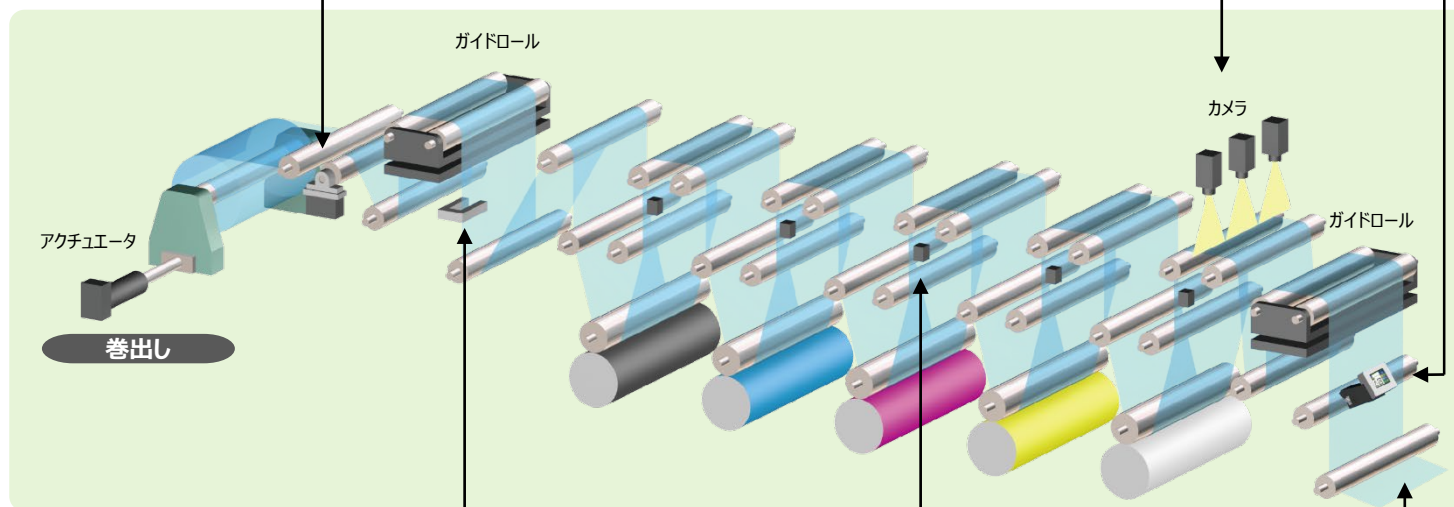
張力制御装置
ウェブの張力を一定に保ちしわ・たるみの発生を防ぎます。



印刷品質検査装置
印刷ラインの欠点を検出します。



**耳端位置制御装置
（絵柄基準）**
ウェブの規定位置を保ち蛇行を防ぎます。




**耳端位置制御装置
（エッジ・センター基準）**
ウェブの規定位置を保ち蛇行を防ぎます。



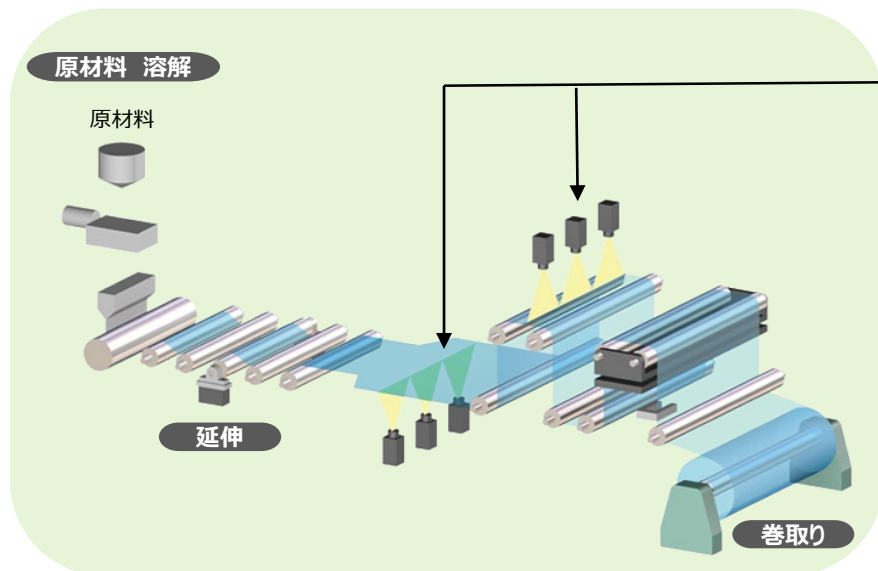
自動見当制御装置
グラビア印刷の縦横見当を自動制御します。



糊付け装置
様々な製品パターンに応じて糊付けを行います。

検査機事業

長年に渡り培ってきた画像処理技術をベースに、農産物から電子部材に至るまで幅広い製品の品質検査装置を扱う事業です。



無地検査装置

あらゆる加工現場にて高速搬送されるフィルム、紙、金属といった無地素材の表面欠陥（キズ、汚れ、異物）などを検査します。

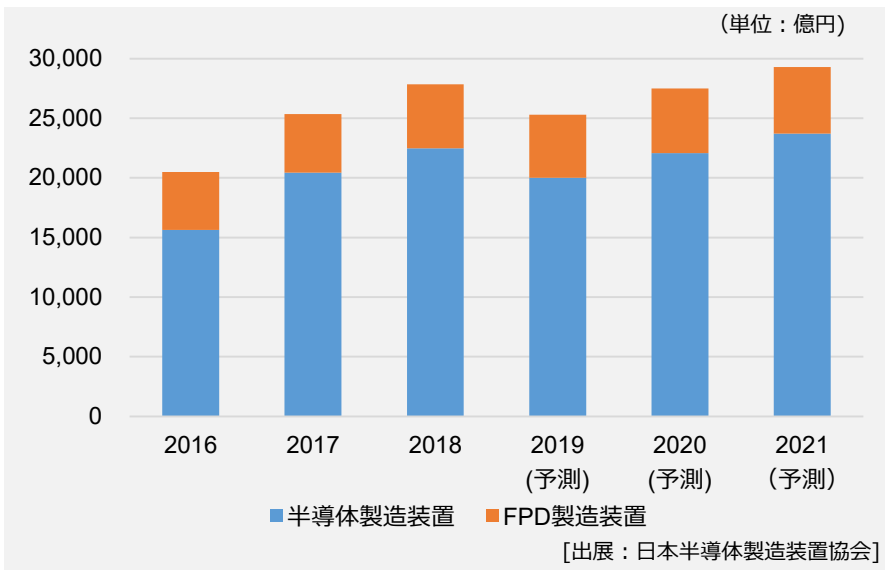
選果装置

農産物の品質を外部（キズ、腐敗、サイズなど）、あるいは内部（糖度、酸度）要因から瞬時に非破壊で判別します。

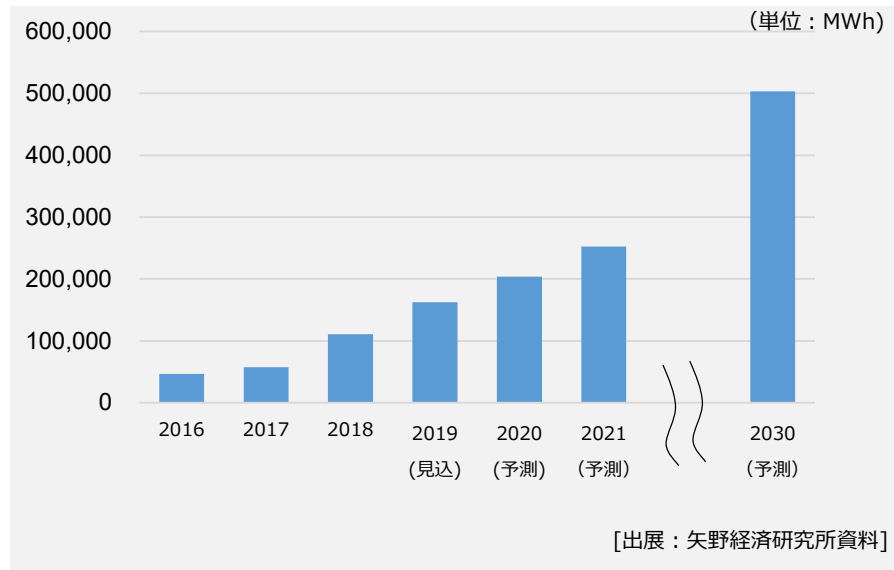


ウェブ事業 検査機事業

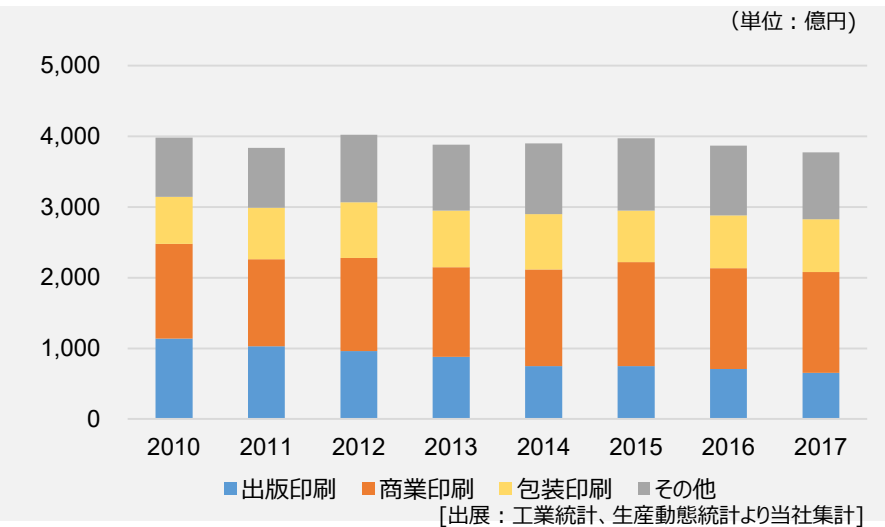
半導体・FPD製造装置需要予測 (対象セグメント：ウェブ・検査)



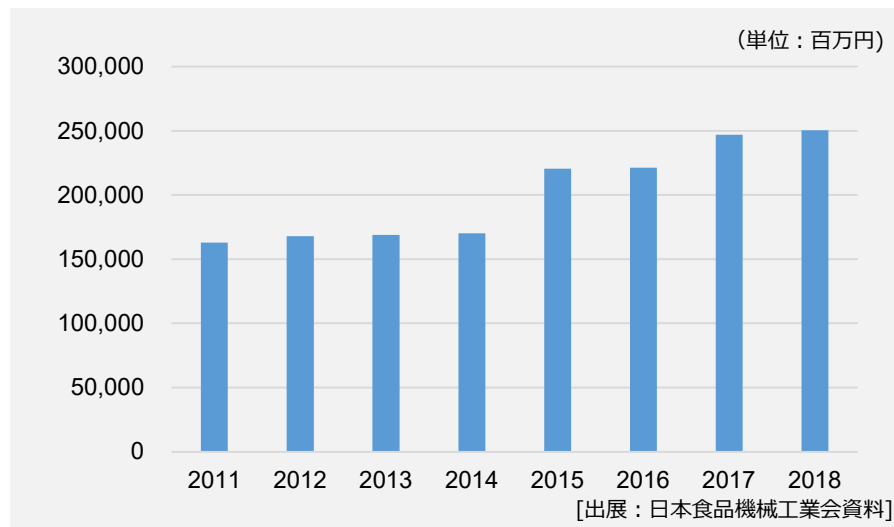
車載用Lib世界市場予測 (対象セグメント：ウェブ・検査)



印刷市場規模の推移 (対象セグメント：ウェブ)



食品機械国内販売額の推移(除、加工機械)(対象セグメント：検査)



E N D